

写真の邪魔者を消そう

デジタル写真に写りこんだ「邪魔者」を消す方法として、写真の中の一部分を「邪魔者」の上にコピーしてやる方法と、「邪魔者」を周囲に同化させる方法とがありますが、今回は、コピーする方法で消してみましよう。

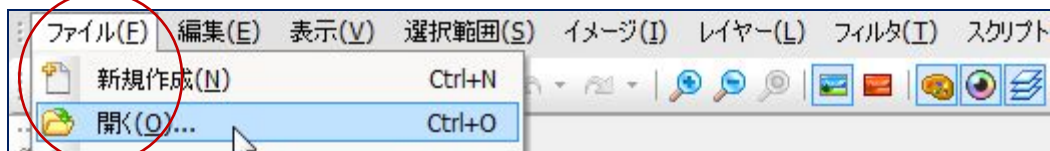
1. フリーソフト「Pict Bear Second Edition」を起動する（Pict Bear でも同じです）。

Pict Bear Second Edition（フォルダ）をダブルクリックで開き、「Pict Bear.exe」をダブルクリックすると、Pict Bear が起動する。

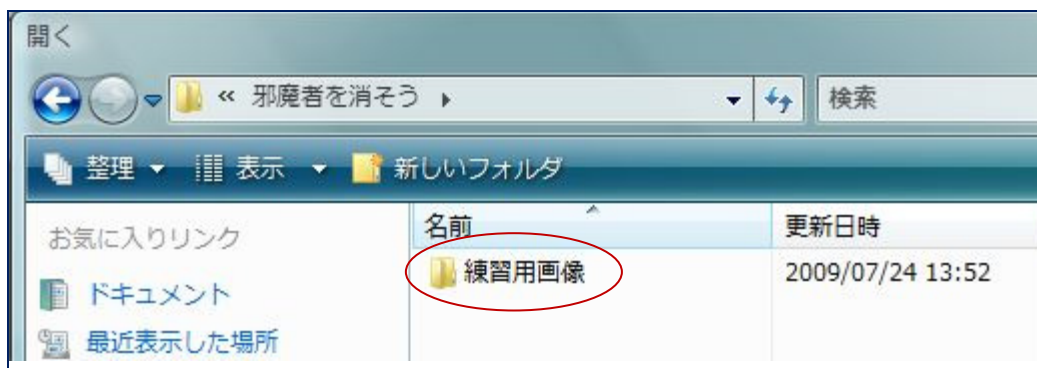


2. 写真を開く

- ① メニューバーから「ファイル」-「開く」を実行する。



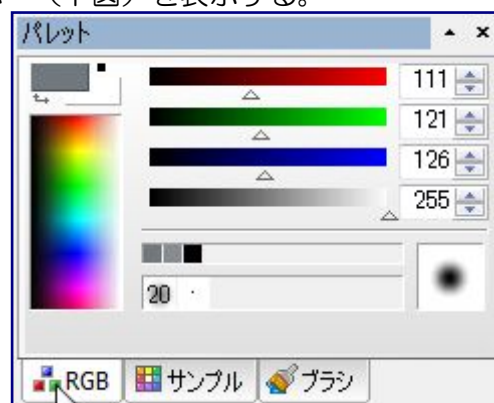
- ② 「開く」画面で修正する画像ファイルを選択し、画面下の「開く」ボタンを押す。



3. ツールバーを表示する

メニューバーの「表示」-「コントロールバー」-「描画ツールバー」をクリックして、「描画ツールバー」（右図）を表示する。

続いて、「表示」-「コントロールバー」-「パレット」をクリックして「パレット」ツールバー（下図）を表示する。



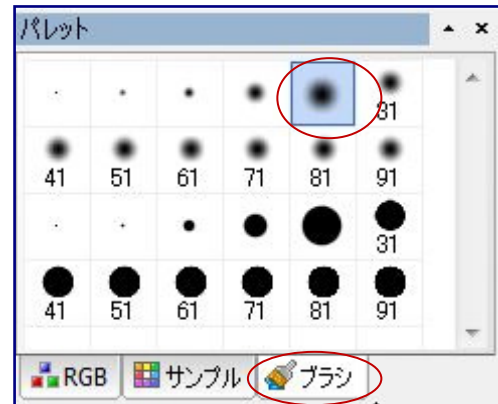
4. 修正用のツールを選ぶ

①「描画ツールバー」の「クローンブラシ」(右図)をクリックする

②「パレット」ツールバーの「ブラシ」タブをクリックして、ブラシの大きさを選ぶ(下図)。

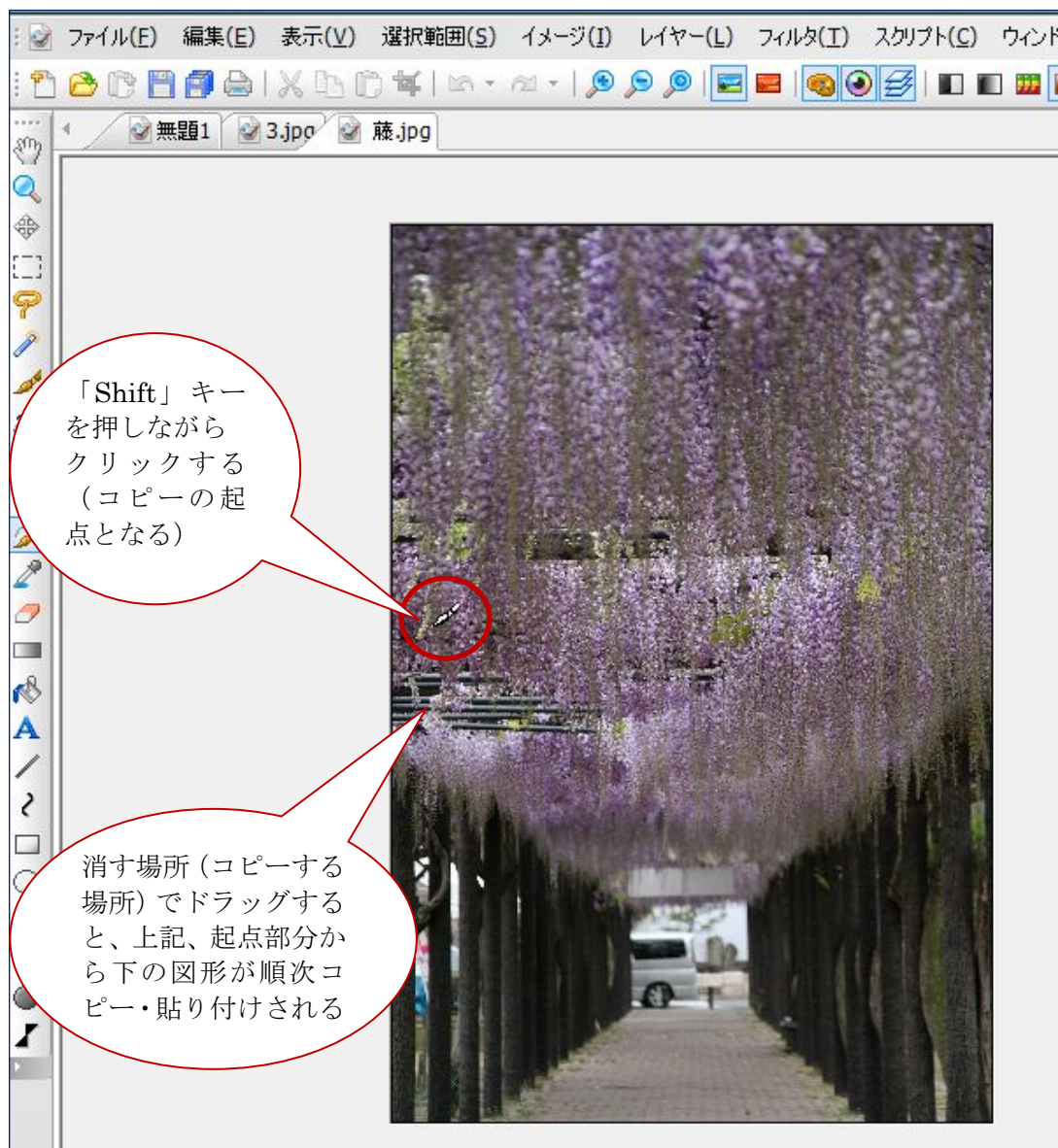
ブラシのサイズが小さいと、細かな作業ができるが時間が掛かる。

大きいサイズにすると、作業は早いが、線がはみ出すことが多い。



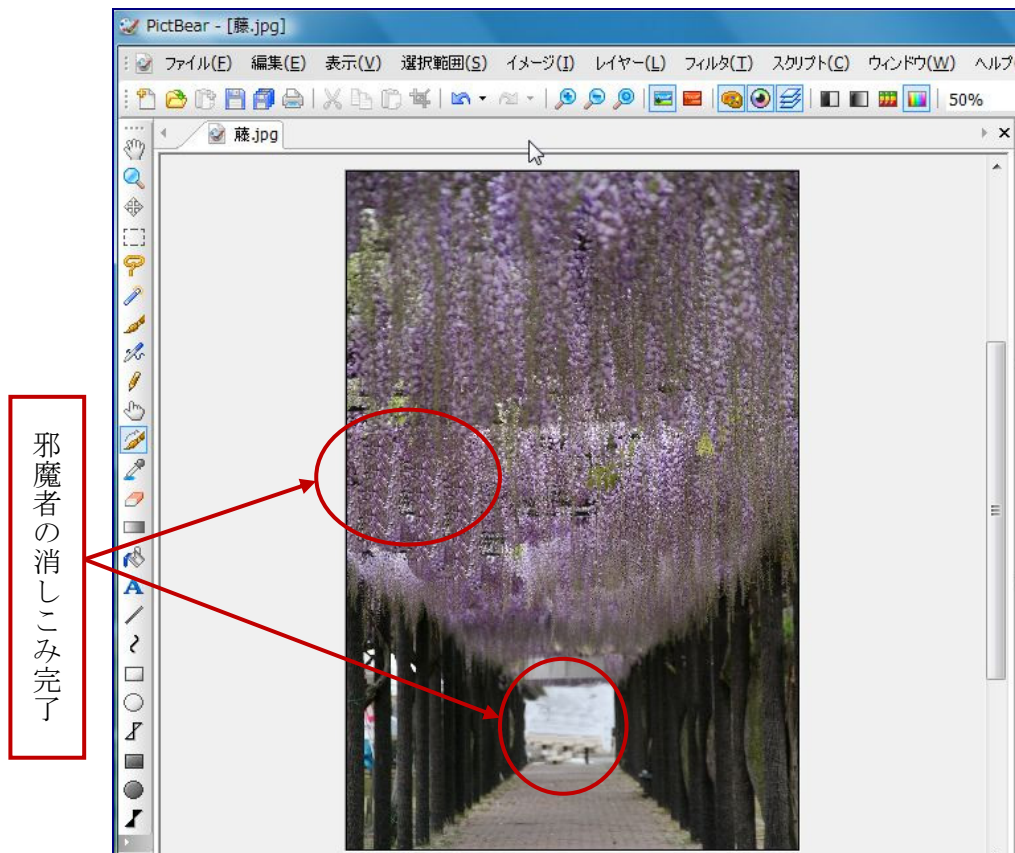
5. 写真を修正する

① コピー元の起点にマウスポインター（クローンブラシ）を置き、「Shift」キーを押しながらクリックする。



- ② 邪魔者の上にマウスポインターを置きドラッグすると、コピー元の図形が上塗りされて、邪魔者を消すことができる。

コピーされる範囲は、コピー元（「Shift」キーを押しながらクリックした場所）を起点にして、修正のために最初にドラッグした位置までの間の図形が、繰り返しコピーされる。



9. 修正画像を保存する

- ① メニューバーの「ファイル」-「名前を付けて保存」を実行する。
- ② 「名前を付けて保存」画面で、名前をつけ、保存場所を選択して、「保存」ボタンを押す。

注 1. 誤った場所を消した場合、元に戻るボタンで戻ることができる。

注 2. ドラッグを一度止めた後、再度ドラッグを始めた場合は、最後の描画状態を継続することは出来ない。再開した場所から新たにコピーが開始される。

注 3. コピー元の起点と、コピーを開始したポイントとの距離（間隔）も、ドラッグ中は保たれているが、ドラッグを止めると距離設定は解消される。ドラッグを再開すると新たな距離（間隔）で再開される。